McAfee Client Proxy 4.1.x リリース ノート

Trellix

目次

Client Proxy 4.1.0 リリース ノート **3**

Client Proxy 4.1.0 リリース ノート

このリリースでは、機能が強化され、既知の問題が解決されています。

4.1.0 リリースの新機能

Client Proxy は、次の機能強化をサポートするようになりました。

- **[大文字と小文字を区別する属性]** – Windows システムに Client Proxy をインストールする前に、インストール ディレクトリで大文字と小文字を区別する属性を確認してください。 インストール ディレクトリでは、大文字と小文字を区別する属性が無効化されている必要があります。 大文字と小文字を区別する属性が有効になっていると、Client Proxy のインストールは失敗します。
- **[代替リダイレクト リスト]** – 代替リダイレクト リストでの IP アドレス、ポート、およびプロセスの設定をサポートします。
- Windows 10 21H1 のサポート

このリリースでは、次のラベルが変更されています。

- マスター MCP アンインストール キーを生成する – グローバル MCP アンインストール キーを生成する
- マスター MCP バイパス キーを生成する – グローバル MCP バイパス キーを生成する
- マスター解放コードを使用する – グローバル解放コードを使用する

4.1.0 リリースで解決された問題点

現在の既知の問題のリストについては、McAfee Client Proxy の既知の問題 (KB83131) を参照してください。

リファレンス	解決策
MCP-3832	Client Proxy は VSCore のインストール ステータスを検出するようになりました。VSCore のインストールが失敗すると Client Proxy のインストールは失敗します。
MCP-3924	プライマリ プロキシ サーバーと代替プロキシ サーバーの両方がブロックステータスの場合、Client Proxy は全体的なステータスをブロックとして表示するようになりました。
MCP-3925	代替プロキシ サーバーのステータスが、McAfee Client Proxy の バージョン情報 ダイアログ ボックスに表示されるようになりました。 (Windows のみ)
MCP-3957	[ポリシーの比較] ページに表示されるテキストが翻訳され、それぞれのロケールで正しく表示されるようになりました。
MCP-3998	ポリシー承認者がポリシーを承認するたびに、Common Catalog が重複するエントリを作成する、という問題がありましたが、解決されました。

リファレンス	解決策
MPT-15284	Client Proxy のアップグレード後、ドメインベースのリダイレクトとバイパスのルールが VSCore に正しく適用されます。

著作権

Copyright © 2022 Musarubra US LLC.

McAfee および McAfee ロゴは、McAfee, LLC、または米国その他の国における McAfee, LLC の子会社の商標または登録商標です。 その他の商標およびブランドは、他者の財産として主張されることがあります。